

新年号の内容

情報発信の10年を振り返る(宮尾尊弘)

情報発信ニュースレター・編集後記(前田幹博)

情報発信の10年を振り返る

新年明けましておめでとうございます。早いもので、この国際情報発信の活動を始めて10年が経ちました。最初

は国際大学グローコムの中のボランティア的な活動(最初の「Debates」は1998年10月付)でしたが、その後2000年4月から「国際情報発信プラットフォーム」(<http://www.glocom.org>)としてグローコムの正式な活動として認められ、さらに2003年4月からは「情報発信機構」としてグローコムから独立した国際大学の活動として進められてきました。その間、リンク数やヒット数も大幅に増えて、日本の情報や意見についてグローバルに検索され利用される活動へ成長しました。

さらにオンラインの活動だけでなく、定期的なセミナーやシンポジウムの開催や、他の国際的な活動への参加を通じて、オフラインのコンタクトを増やすとともに、発信する内容をより豊富で意味深いものにする努力を続けてきました。その結果、今や国内外の多くの人々に支持と支援をいただけるようになったと思います。

思えばこれまで実質的に2人ほどの人員で、一時も途切れることなく10年も情報発信を続けてこられたのも、ひとえに当初からこのようなグローバルな発信活動を構想され、資金も含めて全面的な支持をいただいた故中山素平国際大学特別顧問のおかげであり、またその遺志を尊重して今日まで情報発信の活動の火を絶やさないでいただけた小林陽太郎理事長を始め国際大学関係者の皆様のご理解の賜物と心より感謝するものです。

どうやらこの10年の努力が実を結び、発信活動も1人の人員で支えていけるめどが立ったので、世代交代の意味もあり、今後はこれまで私が担ってきた情報発信機構の「編集長」の役割を、これまで実質的な活動をほとんど全面的に行ってきた同僚に託したいと思います(次期編集長の抱負については以下の編集後記参照)。今後の私個人の情報発信活動につきましては、以下のブログをご覧ください。

<http://glocom.blog59.fc2.com/>

それでは、これからも情報発信へのご支持とご支援をよろしくお願い申し上げます。

2009年元旦 宮尾尊弘国際大学教授



2009年新年を迎えて

情報発信機構とは

「情報発信機構」は、日本をめぐる重要問題について有識者や専門家の意見や討論をグローバルに発信することを使命とする非営利組織。

ウェブ上では情報発信プラットフォーム(www.glocom.org)で、オピニオン、ディベート、ニュースなどを発信、またニュースレターやメールマガジンも定期的に発行。さらにセミナーも毎月開催。

情報発信ニュースレター：編集後記

月報・日本から発信！

月1回発行
発行人・編集長
前田幹博

学校法人国際大学・情報発信機構
106-0032 東京都港区六本木6-15-21
TEL:03-5411-6714/ FAX :03-5770-1725

この度、編集長の役職を担うことになりましたが、宮尾機構長と一緒に歩んできた情報発信での10年間は、今振り返るとあっという間だったというのが実感です。その間、多くの方々のご協力を得て、タイムリーな記事を寄稿頂き、様々なテーマのセミナーを開催出来ましたこと、関係各位には心から感謝申し上げます。しばらくこのニュースレターの内容は、メルマガをまとめる程度にして、1ページの短縮版で進めることとなりますが、今後ともご支援ご協力、どうぞよろしくお願い致します。前田幹博情報発信機構編集長